

結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月23日(金)	試合番号	ト	回戦	準々決勝
種別	男子・女子	会場	(王子)・駒沢体育館		
Aチーム			Bチーム		
豊田合成			トヨタ車体		
得点合計	小計		小計	得点合計	
26	7	前半	12	30	
	19	後半	18		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

草川和真

トヨタ車体11番津屋のカットインで熱い試合の火ぶたが切られる。序盤から両チームが激しくぶつかりあう。めまぐるしいスピードの攻防。先に、流れをつかんだのは、トヨタ車体。5番高智のカットインと速攻、20番渡部の連続速攻などで前半10分で7対3とトヨタ車体がリード。豊田合成も負けじと11番ウーゴの豪快なロングシュートなどで応戦。互いの堅守で得点が入らない時間帯から、トヨタ車体が流れを引き戻す。22番門山が攻撃に参加し、アグレッシブな動きでディフェンスを突破。GK甲斐のファインセーブもあり、前半25分で12対6とリードを広げる。ラスト20秒、豊田合成11番ウーゴのロングシュートが決まり、豊田合成が後半に望みをつなげた。後半、一転、激しい点の奪いあいになる。豊田合成は21番小塩が大活躍、ステップやミドルシュートで得点を重ねるが、トヨタ車体も速攻などで応じ、後半14分まで5点差を譲らず。後半15分トヨタ合成11番ウーゴが豪快なロングシュートを決めると同時に、トヨタ車体は退場者を出す。このチャンスを豊田合成が逃さず、後半16分19対16、3点差に詰め寄る。しかし、トヨタ車体は、22番門山のロングシュート、19番菅野の速攻で連続得点、流れを渡さない。その後もトヨタ車体が強い攻撃力とGKのファインセーブで、豊田合成の反撃を跳ね返す。豊田合成も最後まであきらめず11番ウーゴや14番樋口の得点で追いつがるが、トヨタ車体がリードを守り30対26で勝利を収める。